

(2) 令和3年度の税収見込みと基金残高について

【1】税収見込み（現年＋滞線の総合計）

●R2は減収が大きかったが、一転、R3は増収が見込まれる（7月当初賦課）

※農業所得の増（15%減から15%増へ）、営業所得の減（3%減から16%減へ）

年 度	決 算	前年度	
		差 額	増減率
H28	611,678	—	—
H29	588,817	▲22,861	▲3.7%
H30	577,991	▲10,826	▲1.8%
H31	562,585	▲15,406	▲2.7%
R2 決算	534,801	▲27,784	▲4.9%
R3 見込	561,076	+26,275	+4.9%

【2】基金取崩しについて（納付金財源）

< R2年度 決算 >

基金取崩 ▲49,115 前期精算 27,000 赤字 22,115	=	歳 入 748,265			納付金 797,380
		保険税収	国・その他	前年繰越	
		534,801	179,882	33,582	

< R3年度 見込 >

基金積立 +2,297	=	歳 入 751,537			納付金 749,240
		保険税収	国・その他	前年繰越	
		561,076	178,714	11,747	

【3】基金残高の見込み

●令和4年度予算での「納付金財源」として、4,000万円ほど充てることが可能

※納付金額次第ではあるが、現時点ではR4予算編成は可能と見込んでいる

(単位：千円)

年 度	当 初	取崩し	積立	残 高
R 2	87,554	▲49,115	+5	38,444
R 3	38,444	0	+2,297	40,741

※前期高齢者交付金精算（R4～5）年27,000千円：納付金額に上乘せ

【納付金算定スケジュール】

- 11月中旬：仮算定値の通知
- 1月中旬：確定額の通知